

付録Ⅲ

動機づけ面接治療整合性尺度 第 3.0 版

日本語版

Motivational Interviewing Treatment Integrity (MITI) Version 3.0
T.B. Moyers, T. Martin, J.K. Manuel, W.R. Miller, & D. Ernst
Center on Alcoholism, Substance Abuse and Addictions
The University of New Mexico

“学習し、比較し、事実を集めよ！” I.P. パブロフ (1849-1936)

あるカウンセラーがどれだけ上手に、あるいは下手に動機づけ面接 Motivational Interviewing (以下 MI) を行なっているか？ MITI はこの質問に対する答えを提供する行動コード化システムである。MITI は MI の実践を通じた臨床スキルの向上に必要なフィードバックとしても使える。MITI は次のように用いられることを意図して作られている。① MI の臨床試験において治療の純正性 Integrity を評価する手段として、② 研究と無関係な場面での臨床実践の向上のために構造化された正式なフィードバックの手段として、である。

MITI とその母体である動機づけ面接スキルコードマニュアル (MISC) は、同じ課題についての競合関係にはないことを留意してほしい。これらは異なった課題を達成す

著者付記：動機づけ面接治療整合性尺度は、開発途上の尺度である。研究と学術的目的のためにこの尺度を公開することにした。完成版になるまでには、多くの改善が加えられることを期待している。もし、誤りや改善のための示唆、その他のフィードバックについて気づかれたなら、ぜひ、著者に連絡していただきたい。利用者からの意見によって、MITI を改善するようにわれわれは期待している。†原著者：Theresa Moyers, Ph.D. (tmoyers@unm.edu)

訳者付記：日本語版は訳者らによる独自のものであり、この訳が正統・最終版であると主張することはない。他の方による改訳を期待している。日本語に関するコメントがあれば是非、訳者まで連絡していただきたい。†日本語版翻訳：小畔美弥子 MD (miyako.oguru@gmail.com), 原井宏明 M.D. (hharai@cup.com)

228 方法としての動機づけ面接

ることを目指して作られた異なった道具である。MISC は MI の重要な要素や因果関係のメカニズムの詳細な過程の研究のために使うのが最も理想的である。この目的のために MITI を MISC の代わりに使うことはできない。一方、より簡単な疑問に答えたい場合（この治療はどの程度 MI に準じているか?）、あるいは、ターゲットを明確にしたフィードバックがトレーニングに必要な場合（どうすればカウンセラーの MI 使用を改善できるか?）には MITI のほうがより有用だろう。

MITI と MISC の明らかな違いは、

- 1) MISC はカウンセラーとクライアントの行動の包括的な評価を行なう、二者間の相互作用についての評価も行なう。一方、MITI はカウンセラーの行動のみを評価する。
- 2) MISC は 3 人による別べつのレビューか、3 回のテープの通し聞きを要するが、MITI は典型的には 1 人が 1 回聞くだけで十分である。
- 3) MISC は患者の変化への準備性とコミットメント言語の次元を捉えるが、MITI はそれらを捉えない。そのようなクライアントの行動は結果の予測に重要でありうる。
- 4) MISC は排他的かつ網羅的なコード化システムであるが、MITI は違う。MISC でコード化される多くの特定の行動が MITI ではひとつのカテゴリーにまとめられたり、まったくコード化されずに残されたりする。

A. MITI の構成

MITI は総合評価と行動カウントの二つから構成されている。総合評価は評価者に全体の相互評価を特徴づけるリカート式 5 点尺度で評価することを要求する。これらのスコアは時にゲシュタルトと呼ばれる次元についての、評価者の包括的な印象あるいは全体的な評価である。5 つの包括的な次元（喚起、協力、自律／サポート、方向づけ、共感）が評価される。すなわち各 MITI レビューは 5 つの総合評価を含むことになる。

行動評価は評価者に特定のカウンセラーの行動例を集計することを求める。この連続的集計はレビューされている部分の最初から最後まで行われる。評価者は、総合評価においてのように、その事象の質や全体的な適切さの判断することは求められず、ただ数えるのみである。典型的には総合評価と行動評価はともに、1 回のテープレビューで行われる、そして典型的には無作為に選ばれた 20 分間の部分が使われる。テープの一部が本当に無作為に選ばれるよう保証するために、とりわけ臨床試験においては慎重な配慮がなされるべきである。MI による介入の全体的な整合性について適切に推測できるようにする。

テープは必要なら止めてもよい、しかしながら停止、再生をやりすぎると、実際のコード化において（トレーニングやグループレビューの時と異なり）、総合評価に必要な評価者が全体的な印象を形成する能力の妨げになるかもしれない。それゆえ評価者はこのコード化システムの使い方に熟達するまではテープを 2 回聞くようにしてもよい。この場合、1 回目は総合評価に使い、2 回目を行動評価につかうべきである。

B. ターゲット行動を特定する

MI を上手く使うための重要な要素は、特定の行動や問題の変化を促進するようにカウンセラーが留意することを含む。熟練したカウンセラーは可能な時には、特定の変化についてのクライアントのチェンジトークを強化し引き出すように努力するだろう。評価者は、コード化の仕事の前に、それがあると仮定して、なにが介入の標的となる行動であるのか知っておくべきである。そうすることによって評価者は、カウンセラーが目標の行動に向かって介入できているのか、やみくもにもがいているのか、方向を完全に失っているのか、絶望的になっているのかより正確に判断することができる。MITI は標的となる行動がはっきりしない介入に使用するためには作られていない。

C. 総合評価

“長話とは、一言でいうとどういう意味か？” J.C.F. シラー (1759-1805)

総合評価は尺度の意図にカウンセラーがどれだけ上手くあるいは下手に合致しているかについての評価者の全体的な印象をとらえることを目指している。これは同時に多様な要素を評価することからも成し遂げられるかもしれないが、評価者のゲシュタルトあるいは一度に全部の判断の方がもっと重要である。総合評価はカウンセラーの全体の評価を反映するべきであり、必ずしも個々の要素に分けられない。総合評価は 5 点法リカートスケールに基づいてなされ、評価者は開始の点を 3 点と想定して、そこから上げたり下げたりする。

MITI 3.0 ではスピリット総合評価は 3 つの総合評価に分類される（喚起、協力、自律／サポート）。これらの評価は独立した関係ではなく、むしろお互いに関連し影響し合っているかもしれない。喚起、協力、自律／サポートがいっしょに平均されてスピリット包括評価が算出される。小数点 2 桁まで平均を計算することが推奨される。

1. 喚起

この尺度はカウンセラーが変化への動機づけ、そして変化へ向かう能力はほとんどク

表1 喚起

低い		高い		
1	2	3	4	5
変化が必要な理由についてカウンセラーの側から説明したり、教育したり、説得したりする。クライアントの知識や経験、努力、動機づけについて探ることを怠る。	カウンセラーは教育的指導や情報提供に頼り、クライアントの個人的な動機や考えを探ることを犠牲にする。	カウンセラーはクライアント自身が語る変化すべき理由やどのように変化が起こるべきかについて特別な関心を払っていない。クライアント自身の状況に合わせず、情報提供や教育を行うこともある。	カウンセラーはやりとりの中で明らかになるクライアント自身の変化する理由やどのように変化が起こるべきかという考えを受け入れている。クライアントが抵抗したときに、教育しようとしたり、方向を変えようとしたりしない。	クライアント自身の変化する理由やどのように変化が起こるべきかという考えをカウンセラーが先手を打って引き出すようにしている。

クライアントの中に備わっていることを理解していることを伝え、またそれゆえに治療相互作用の中でそれらを引き出し発展させる努力に集中する程度を測ることを意図している。

<低い評価>

この評価で低いカウンセラーはクライアントの両価性あるいは変化への理由に表面的な興味しか持たず、これらを詳しく探る機会を見逃す。彼らは詳しく探ることなしにクライアントの変化への（あるいは変化しないことへの）意図について決めてかかったり、クライアントの見解を無視したりするかもしれない。喚起の評価が低いカウンセラーはなかなかと続く事実集めや情報提供を変化促進の手段として頼るかもしれない、そして考慮されている問題についてのクライアントの現在の知識の土台に対する不信感をしばしば伝える。この評価で最低のカウンセラーはチェンジトークが示されても応えず、応えたとしてもおごりな態度である。彼らはクライアントから変化の理由を引き出そうとせず与えがちである。

<高い評価>

この評価で高いカウンセラーはなぜ変化が良い考えかあるいはそうではないかということについてのクライアントの個人的なユニークな考えに関して知りたがっている。彼らはクライアントがこれらの考えを提出した時にフォローアップするだけでなく、クライアントが提出しない時でも積極的にそれらを探そうとする。喚起の評価が高いカウンセラー

セララーは情報や教育を提供するかもしれないが、クライアントが変化するのを助ける手段としてはそれに頼らない。代わりに彼らはクライアントの個人的な変化への理由とそれに達する手段を探索することを優先し、この探索がセッションの中の他の内容や情報の中で無視されることを許さない。喚起の評価の高いカウンセラーは変化に賛成するクライアント自身の言語の価値を理解し、そのような言語が生まれる機会を積極的に作り出す。

<言語アンカーポイント>

1. カウンセラーはクライアントの知識や努力、動機づけを探ることなしに、変化への理由や変化についての教育を積極的に与える。

【例】

- ・目標とする行動についてのクライアントの発言を無視したり誤解したりする。
- ・クライアントが前もって知識があることを示しているのに、頑なに教育を与える
- ・クライアントらしさに対応しないような決まった質問リストを使う
- ・クライアントの貢献を退け無視する
- ・クライアントの状況についての好奇心の欠如
- ・クライアントを説得して変化させようとする

2. カウンセラーは教育と情報提供に頼り、クライアントの個人的な動機づけや考えを犠牲にする

【例】

- ・変化への話し合いの中にクライアントの貢献を組み入れない
- ・クライアントのチェンジトークに応じることへの曖昧なあるいは不完全な努力
- ・クライアントの見解や状況への軽度のあるいは表面的な関心

3. カウンセラーはクライアント自身の変化やどのように変化が起こるべきかの理由づけに特に興味や気づきを示さない。クライアントの状況に合わせることなしに情報や教育を提供するかもしれない。

【例】

- ・患者の変化への動機づけを調べる機会（たとえば話が出た時に過去の成功を話し合うことによる）を逃す
- ・クライアントの見方や状況について中立的
- ・クライアントのチェンジトークに対して時どき応じる

4. カウンセラーは相互作用の中でクライアント自身の変化への理由や変化がどのように起こるべきかについての意見が提供された時は、それらを受け入れる。クライアントが抵抗したときでも、教育や指示しようとは試みない。

232 方法としての動機づけ面接

【例】

- ・クライアントの変化や動機づけについての考えが面接の方向づけを与えるのを許す
 - ・クライアントの変化の理由が出された時、額面どおりに認める、しかし引き出したり練り上げたりはしない。チェンジトークが生じた時は、一貫して聞き返しや詳しい質問や興味で応じる
5. カウンセラーはクライアント自身の変化の理由やどのように変化が起きるべきかについての考えを喚起するように進んで働く

【例】

- ・クライアントの考えや経験（とくに目標行動についての）に興味を示す
- ・クライアント自身が話して変化するよう助ける
- ・構造化された治療的課題をチェンジトークを強化したり引き出す方法として使う
- ・クライアントが変化の理由を提供した時はより深く探る機会を見逃さない
- ・面接に方向づけを与えるためにクライアントの変化に対する考えや動機づけを探す
- ・戦略的にチェンジトークを引き出しそれが提供された時には一貫して応じる

2. 協 力

この尺度は二人の平等な、そのどちらもが考慮中の問題に有益であるかもしれない知識を持っているパートナーの間で面接が起こっているようにカウンセラーがふるまう程度を測る。

<低い評価>

協力の評価が低いカウンセラーはセッション中、相互理解に向けて努力しない。彼らは面接を前に進めるためにカウンセラーの権威と専門的知識に基づいた一方的なコミュニケーションに頼る。彼らは拒否的、過度に受動的であるかもしれない。そのような場合は、ただ黙従的で相互作用に対して真の貢献をしない。クライアントの問題に応じるために自分自身の知識に頼り、クライアントの知識を尊重しようとしなない。しばしば変化の必要性とそれを達成する手段の両方をクライアントに先んじて処方する。彼らとクライアントの相互作用はパートナー同士が息のあった社交ダンスというより相手を力でねじ伏せようとしている格闘技のようである。

<高い評価>

協力において高評価のカウンセラーは面接の目標に向かってクライアントと協働して働く。彼らは進歩を達成するのに支配的立場、専門性や権威に頼ろうとしない。彼らはクライアントの考えを知りたがり、進んでそれに影響される。これらのカウンセラーは自分の専門知識を制御することができ戦略的にそれを使う、そしてクライアントがまだ

表 2 協力

低い		高い		
1	2	3	4	5
クライアントのやりとりの大半で、カウンセラーはエキスパートとして振る舞う。協力は存在しない。	カウンセラーは協力が可能な場面ではそうするが、表面的である。	カウンセラーはクライアントのゴールや考え、価値を組み入れているが、やり方が中途半端で一貫性がない。面接にクライアントが寄与できる場面があっても気づいていないか、無視する。	カウンセラーはクライアントとの協力や議論の共有を大切にし、その結果、他のやりかたでは表出されなかったようなクライアントの考えが現れ、セッションに影響を与える。	カウンセラーは積極的にクライアントとの議論の共有を狙い、促す。その結果、セッションの雰囲気全体がクライアントの考えを反映している。

それを受ける準備ができていない時はそうしない。協力の評価が高いカウンセラーは面接中にクライアントと社交ダンスをしているように見える、～ある瞬間は導き、次は従い、そして導きというように～これらが切れ目のなく流れるような動きをしている。

<言語アンカーポイント>

1. カウンセラーはクライアントとの相互作用の大部分で専門家の役割を積極的に引き受ける。協力は欠如している。

【例】

- ・明白に専門家の役割をとる
- ・クライアントの考えを否定したり軽視したりする
- ・会話を支配する
- ・クライアントが違う方法を出した時に議論する
- ・受動的、壁がある、または素っ気ない

2. カウンセラーは協力を控く、または機会に表面的に応じる。

【例】

- ・専門家の役割を捨てるのが難しい
- ・クライアントの情報に対する表面的な質問
- ・専門知識を与えることを好んで相互的な問題解決の機会をしばしば犠牲にする
- ・クライアントの情報への最小限の応答
- ・クライアントに当惑する、またはいらいらする

234 方法としての動機づけ面接

3. クライアントの目標、考えや価値観を組み込むが、熱意のないあるいは気まぐれなやり方でそうする。面接へのクライアントの貢献を深める機会に気づかなかったり無視したりするかもしれない。

【例】

- ・協力の機会を利用するかもしれないが、それを喚起するように相互作用を構造化することはない
 - ・いくらかクライアントの話につながった応答、しかし表面的である
 - ・ほとんどの場合、議論で争うことはないが、同意しないこともある
 - ・専門知識を与えることを好んで相互的な問題解決の機会をときに犠牲にする
4. カウンセラーは協力と議論の共有を助長する。そうしなければ出なかったようなクライアントの考えが、セッションに影響を与える。

【例】

- ・クライアントの情報を得るためのセッションのいくらかの構造化
 - ・クライアントの意見を強く求める
 - ・問題解決にクライアントに従事させる
 - ・クライアントの準備ができていなければ解決に固執しない
5. カウンセラーはクライアントの考えが、実質的にセッションの結果に影響するようなやり方で、相互作用における議論の共有を積極的に助長し奨励する。

【例】

- ・クライアントからの情報提供を促進するようなやり方でセッションを積極的に構造化する
- ・クライアントの考えを尋ねる
- ・クライアントの示唆を組み込む
- ・クライアントからの情報提供を積極的に掘り起こす
- ・クライアントを明白に専門家とみなす
- ・クライアントからの情報提供に応じて助言や専門知識をさじ加減する

3. 自律／サポート

この尺度は、カウンセラーがクライアントの行動や選択をコントロールする試みと、反対にクライアントが選択を認識するのをサポートし、積極的に促進する程度を伝えることを意図している。自律尺度のスコアは特定の行動を回避することと自律やサポートを促進する戦略を先取りして追求することを含む。

<低い評価>

自律／サポートの評価が低いカウンセラーは、カウンセラーからの情報なしでは健康への方向にクライアントが動くことができないと見なしている。カウンセラーが最適だ

表 3 自律／サポート

低い		高い		
1	2	3	4	5
カウンセラーは積極的にクライアントの選択やコントロール感を損ねたり、否定したりする。	カウンセラーはクライアントの選択やコントロール感を妨げたり、表面的に応じたりする。	カウンセラーはクライアントの自律と選択に対して中立的である。	カウンセラーはクライアントの自律を受け入れ、サポートする。	カウンセラーはクライアントの自律の表現に感情や意味を結びつける。この結果、クライアントが自分自身でコントロールして選択するという経験が広がるようになる。

と考える方向にクライアントが変化するのが当然のことだと見なすこともある。クライアントには選択権がないとあからさまに告げることもあるだろう。

加えて、カウンセラーは外的な影響（逮捕や他者からの強制のような）がクライアントから選択権を奪ったと示唆することもある。目標の行動に近づく方法は一つしかないと主張したり、クライアントの変化の能力について悲観的であったり冷笑的であったりすることもありうる。自律／サポートの評価が低いカウンセラーがクライアントに選択権があると伝える場合は、それを否定的または冷笑的なニュアンスを込めて伝える（注意：クライアント自身が選択権の欠如、現在の状況についての絶望感や怒りを自覚しており、カウンセラーがそれに共感を示している場合は、自律／サポートスコアを低くしてはいけない）。

<高い評価>

自律／サポートの評価が高いカウンセラーはセッション中に選択とコントロールの話題が取り上げられることを直接的にあるいは暗黙に保証する。彼らはクライアントが健康への方向に動く可能性を持っていると見なす。この尺度で高評価のカウンセラーは目標行動に関してクライアントが選択権を認知するのを助けるよう努める。加えて、カウンセラーはクライアントが変化するか現状維持するかの選択権をもつことを明白に認めることがある。また患者の変わる能力について楽観的であることを示す。

<言語アンカーポイント>

1. カウンセラーはクライアントの選択権の認識を積極的に軽んじたり否定する

【例】

- ・クライアントには選択権がないとあからさまに述べる
- ・外的な影響が選択権を奪うとほめかす

236 方法としての動機づけ面接

- 他の選択を探るのに悲観的，冷笑的，皮肉である
- 別の選択について頑なである

2. カウンセラーはクライアントの選択権の認識を妨げる，または表面的に答える

【例】

- クライアントによって選択権についての話題が出た時に詳しく聞いたり注意を払ったりしない
- クライアントの選択権を軽視し，または表面的に扱う
- 選択権についての話題を認めたあとに放棄する
- クライアントの選択について討論する時の誠実さの欠如
- クライアントが選択権を持ち出した時に積極的にそれを無視する

3. カウンセラーはクライアントの自律と選択に関して中立である

【例】

- 選択を否定しないがそれを積極的に確固としたものにする努力はほとんどしない
- 面接中，選択権の話題を持ち出さない

4. カウンセラーはクライアントの自律を受け入れサポートする

【例】

- クライアントの別の選択を誠実に探る
 - クライアントが自分は無理やり変えられることはできないと述べた時に同意する
- ### 5. カウンセラーはクライアントが自分のコントロールと選択の経験を著しく拡大できるようなやり方で，クライアントの自律の表現の感情と意味に言葉を付け加える

【例】

- カウンセラーはクライアントら目標行動についての選択権をより自覚することにつながるようなコメントを引き出すことに積極的である
- 真に誠実で独占欲のない態度で別の選択を探る
- クライアントが変化しないという選択を皮肉なしに明白に認める
- クライアントが最初の試みに答ええない場合，クライアントの別の選択とコントロールの能力について話し合う多様な機会を与える
- クライアントの変化や動機づけについての考えに信頼をおく

4. 方向づけ

この尺度はカウンセラーが特定の目標行動やそれに直接結び付く事柄に適切な集中を維持する程度を測定する。他の総合評価と違い，この尺度の評価が高いことはMIが上手であることを必ずしも意味しない。この評価が高くて，MIを上手く使えないカウンセラーが存在する。

表 4 方向づけ

低い		高い		
1	2	3	4	5
カウンセラーはセッション内のトピックや経過について影響を与えない。ターゲットの行動の選択は完全にクライアントの手中にある。	セッションについてカウンセラーは最低限の影響を与えるのみで、クライアントをターゲットの行動に向かわせるチャンスを見逃さず。	セッションについてカウンセラーがいくらかの影響を与えるが、ターゲットの行動から容易に話がそらされてしまう。	カウンセラーは全体的にセッション内の方向づけに影響を与えるが、話が無方向にさまよう時間がかかりあり、そのようなときカウンセラーが方向を再度変えていこうとしない。	カウンセラーがセッションの内容に影響を与えており、クライアントがターゲットの行動や受診の理由にクライアントを向けていくチャンスをほとんど見過ごさない。

＜低い評価＞

方向づけの評価が低いカウンセラーはセッションの話題と進路に関してほとんど影響を与えない。クライアント側の行動を特定し、それが変化する場合を探っているように見えないし、変化を話し合いの場に持ちこめるチャンスをつかもうとしない。方向づけの評価が低いカウンセラーのセッションは構造を欠いているだろうし、おそらく無目的な性格を有しているだろう。カウンセラーが問題行動を特定し、それに焦点づけする試みを怠れば、クライアントは自分にとって関心のある話題を思いつくままあれこれ話すだけで終わってしまうだろう。過去の話や理論的な説明に過度にこだわることをカウンセラーがそのまま受け入れたとすれば、結果的に現在の行動を変化させることから注意を逸らすことになる。方向づけの評価の低いカウンセラーは特定の望ましい結果に向けてセッションを動かすことを助ける羅針盤を欠いているように見える。

＜高い評価＞

方向づけの評価の高いカウンセラーはセッションの話題と進路に関して実質的な影響力を行使する。彼らは目標行動や関連する質問への焦点づけがわかりやすく、会話が逸れるときは目標行動に戻るように一貫して努力する。今、まな板の上にある問題に焦点を絞ることについて妥協したりぶれたりせず、面接の場面を支配しているカウンセラーは方向づけのスコアが高いだろう。しかしながら、方向づけの評価の高いカウンセラーが厳しかったり権威主義的であるということではない。彼らは目標行動に関する関心や変化の可能性に向けたクライアントの議論を選択的に強化することによって方向づけをしようとするだろう。方向づけの評価の高いカウンセラーはセッションの焦点が目標行動からあまりに遠く漂流してしまった時には進路訂正を実行する羅針盤を使うように見

238 方法としての動機づけ面接

える。

<言語アンカーポイント>

1. カウンセラーはセッションの話題や進路に影響を及ぼさず目標行動の議論は完全にクライアントの手中にある

【例】

- セッションを構造化することに失敗する
 - セッションのほとんど全体が現在の問題にほとんど無関係な話題に焦点づけられている
 - カウンセラーはクライアントの性格、子ども時代や過去のトラウマに話を焦点づけ、目標行動には表面的な注意しか払わない
 - カウンセラーは非指示的、クライアント中心の傾聴に従事する
 - クライアントがいろいろな方向づけにさまようのに受動的に従う
 - 目標行動は述べられない、またはセッションから推定できない
2. カウンセラーはセッションに最小限の影響しか及ぼさず、目標行動にクライアントを方向づけるほとんどの機会を逃す

【例】

- いくらかの構造は与えるが、セッションは最初に明示した意図からは大きく逸れる
 - 目標行動についてのいくらか話し合う、しかしセッションの大部分は他の話題に費やされる
 - カウンセラーはクライアントの話を目標行動に結びつけようと表面的にしか試みない
 - セッションのほとんどは目標行動の考慮に向けた選択的な強化の証拠のない、非指示的なクライアント中心の傾聴に費やされる
3. カウンセラーはセッションにいくらかの影響を及ぼす、しかし目標行動への焦点づけからたやすく逸れてしまう。

【例】

- カウンセラーはセッションにいくらかの構造を与えるが、それをフォローアップし続けることについては一貫性がない
- カウンセラーは目標行動についてのクライアントの話にいくらかの選択的な強化を与えるが、一貫性がない
- カウンセラーは進んで目標行動を持ち出すのが容易に逸らされる
- カウンセラーはセッションの実質的な部分を目標から離れた議論に焦点づける
- セッションの大半の時間は現在や未来よりも過去を話し合うことに費やされる

4. カウンセラーは一般的に目標行動に向けてセッションの方向づけに影響を及ぼすことができる。しかしながらカウンセラーが再方向づけしようとせずに長く脱線するような会話もあるかもしれない。

【例】

- ・カウンセラーはセッション中に明示されたプランを使うよう、ある程度努める
- ・目標行動は明らかであるが、カウンセラーはそれに注意を焦点づけるかどうか不確かのように見える
 - ・カウンセラーはクライアントによって目標行動から容易に逸脱させられる
 - ・カウンセラーは一度脱線すると会話を目標行動に向けるいくつかの機会を逃す
- 5. カウンセラーはセッションに影響力を及ぼし、一般的に目標行動や関連する質問に向けてクライアントを方向づけする機会を逃さない

【例】

- ・目標行動に言及するアジェンダ設定
- ・カウンセラーは目標行動についての関心が明らかである
- ・カウンセラーは時間を上手く管理し、治療課題の間をスムーズに移ってゆく
- ・カウンセラーは一貫してスムーズにクライアントの話を目標行動に向けて方向づけする
- ・セッションの大半の時間は問題の歴史についてよりも、可能な変化を話し合うことに費やされる
- ・カウンセラーはセッションを支配しクライアントが目標行動から逸脱するのを許さない

5. 共感

この尺度はカウンセラーはがクライアントの視点や気持ちを理解するまたはとらえようと努力する程度を測る。文字どおり、カウンセラーがどれだけクライアントが奥深くで何を感じ考えているかについて“試掘”しようと試みるどうかを示す。共感暖かさ、受容、率直さやクライアントに対する弁護や擁護と混同されてはいけない。これらは共感の評価とは独立している。聞き返しはこの特徴の重要な部分である、しかしこの全体的な評価はカウンセラーがクライアントの視点を理解しようし、またその理解をクライアントに伝えようとするすべての努力をとらえることを意図している。

<低い評価>

共感の評価が低いカウンセラーはクライアントの視点や経験に無関心であったり、積極的に否定したり却下したりする。彼らは事実の情報を探ったり課題を追求するかもしれないが、クライアントの視点を理解するという唯一の目的のためというよりはむしろ、彼ら自身の観点に合わせてケースを形作るためにそうする。複雑な出来事や感情の深い

表5 共感

低い		高い		
1	2	3	4	5
<p>カウンセラーはクライアントの世界観に興味を全く示さない。クライアントの視点に対してごくわずかな注意を払うのみである。</p>	<p>カウンセラーはクライアントの視点を探ろうと時たま努力する。カウンセラーのクライアントに対する理解は不正確なことがあり、クライアントが真に意味することからは遠ざかってしまう。</p>	<p>カウンセラーはクライアントの視点を理解しようと積極的に努力し、それに成功しているところもある。</p>	<p>カウンセラーがクライアントの世界観を正確に理解していることを示す証拠がある。クライアントの視点を理解するための努力を積極的に繰り返し行う。理解は、明示された内容のレベルにとどまっている。</p>	<p>明示的に語られた事柄以外、すなわちクライアントが語らなかったが実際には意味していたことのような奥深いレベルまで、カウンセラーがクライアントの視点を理解していることを示す証拠がある。</p>

理解を得るための努力はほとんどなく、質問は浅薄さやいら立ちを反映している。かれらはクライアントの視点に敵意を表し、また否定的結果についてクライアントを直接的に非難するかもしれない。

<高い評価>

共感の評価が高いカウンセラーはセッションをクライアントについて学ぶ機会としてとらえる。彼らには好奇心がある。彼らはとくに目標行動に関するクライアントの意見、考えについて探ることに時間を費やす。共感クライアントが話していることを理解するのに積極的な興味をカウンセラーが見せる時に明らかである。それはまたカウンセラーがクライアントの複雑な話や発言を正確に追ったり理解したりする時や明瞭さを得るためにやさしく探る時にも明らかとなりえる。

<言語アンカーポイント>

1. カウンセラーはクライアントの世界観に興味を示さない。クライアントの視点にほとんどまたは全く注意を払わない

【例】

- ・情報を求める質問だけする（しばしば隠れた意図を持って）
- ・クライアントの視点を理解しようと試みることなく事実の情報のみ探る

2. カウンセラーはクライアントの視点を探る散発的な努力をする。カウンセラーの理解は不正確またはクライアントの本当の意味から逸脱しているかもしれない

【例】

- ・カウンセラーは聞き返すがクライアントの言ったことを間違って解釈する

- ・クライアントを理解しようとするカウンセラーの努力が上っ面で終わっている。
3. カウンセラーはクライアントの視点を理解しようと積極的に試み、ある程度成功する

【例】

- ・カウンセラーはクライアントに平均的な共感を示す
 - ・カウンセラーは少数の正確な聞き返しを行うが、クライアントの言いたいことを逃すかもしれない
 - ・カウンセラーはセッションの間中ずっと、クライアントの意味するところを捉えようと試みるが、そこそこうまくいく程度にとどまる。
4. カウンセラーはクライアントの世界観の正確な理解の証拠を示す。クライアントの視点を理解しようとする積極的で反復的な努力を行う。理解は大部分明らかに表れた内容に限られる

【例】

- ・カウンセラーはクライアントの視点や状況への興味を伝える
 - ・カウンセラーはクライアントが言ったことに正確な聞き返しを行う
 - ・カウンセラーはクライアントの視点の理解を効果的に伝える
5. カウンセラーはクライアントの視点の深い理解の証拠を示す（明白に言明されたことだけでなくクライアントが意味しているが言わなかったことについても）

【例】

- ・カウンセラーはクライアントがセッション中に言ったことを超えるレベルの理解を効果的に伝える
- ・クライアントの視点や状況に強い関心を示す
- ・カウンセラーが自分自身をクライアントの立場に身を置いて、理解しようとする。
- ・しばしばクライアントに単に話に追従するのに必要な事柄以上に、より詳しく述べるよう、しばしば励ます
- ・多くの正確で複雑な聞き返しを使う

D. 行動カウント

“わたしの長年の金言がこうなんです、細かい点こそが最大絶対の謎解きのカギであると。”

シャーロック・ホームズ 花婿失踪事件 A Case of Identity (A. Conan Doyle, 1892)

行動カウントはカウンセラーの MI の使用の全体的な印象にいかにかそれらがあてはまるかという点には関係なく特定の行動を捉えることを意図している。やりとりの内容は

242 方法としての動機づけ面接

いくらか評価者に影響するだろうが、行動カウントは（全体的な印象を捉えようと企てるというよりもむしろ）一般的にカテゴリー化と判定の法則の結果、決定される。推論によって行動カウントを決定することは避ける。

カウンセラーの発話を行動カウントに割り当てるために解析する

ここでは、一つの発話を一つの完結した思考と定義する。一つの思考が完了した時、一つの会話が終わる。新たな考えが紹介された時、一つの新しい発話が始まる。思考の流れを表現した文章のように、一つの発話がカウンセラーの会話の流れの中で別の発話に続いていくことがある。クライアントの反応は常にカウンセラーの発話で終了する、そしてクライアントの話に続く次のカウンセラーの答えはそれゆえ常に新たな発話である。カウンセラーの発話のすべてが行動カウントを与えられるわけではない。MISCと違って、MITIはすべての可能なコードの網羅的なリストを表してはいない。それゆえ、いくつかのカウンセラーの発言はおそらくコード化されないままであろう。MITIコードは網羅的ではないが、お互いに排他的であり、同一の発話は一つ以上のコードを与えられない。

どの発話も6つの基本的な行動コードのうちの一つを割り当てられるだろう。3つのカテゴリーについては、さらに下位分野が必要とされる。前述したとおり、それぞれの発話の一つの、そして唯一のコードを付与される。しかしながら連続する発話は、たとえ同じ文の中であっても、それぞれ別のコードを付与されるかもしれない。それゆえ比較的長い答えの中で、カウンセラーがもし聞き返し、そして直面化し、次に質問するならば、それらが別べつの発話（考え）であるとすれば、それぞれに異なった行動カウントを付与する必要がある。ボレー（矢継ぎ早の発言）はカウンセラーによる割り込まれることのない発話の連続と定義される。そのボレーの中の1つに、1つの行動コードが割り当てられたら、その部分に他のコードが割り当てられることはない。ボレー全体が各行動コードの中の1つだけを含むこともある。

<次のカウンセラーの陳述を考えよ>

えーっと、ひとつ質問させてください。あなたは無理やりここに連れてこられたのですから、みんながカラスのようにあなたを突き回る、あなたの飲酒について飛びまわり、あなたを突ついているカラスの群れがいるかのように感じているわけです、で、ここで過ごす時間をどのようにしたいですか？何があなたの役に立つでしょう？

<この陳述は次のようなやり方で分析される>

発話1：えーっと、ひとつ質問させてください：あなたは無理やりここに連れてこられたのですから、みんながカラスのようにあなたを突き回る、あなたの飲酒について飛びまわりあなたを突ついているカラスの群れがいるかのように感じて

いるわけです。

発話 2：ここで過ごす時間をどのようにしたいですか？何があなたの役に立つでしょう？

<このカウンセラーの論述はどうであろうか？>

あなたがおっしゃる、それはあなた次第だ、というのはまったく正しいです。誰もあなたに代わってその選択をしません。誰もあなたに代わってその選択をできません。たとえあなたの妻が代わりに決めたいと思っても、あるいはあなたの雇い主があなたの代わりに決めたいと思っても、あるいはわたしがあなたに代わって決めたいと思っても、誰もできないのです。それは全く完全にあなた自身の選択です。どのようにあなたの人生を生きるか、薬についてどうするか、どこへ向かうか；だからそれはあなたのものです。そしてあなたは「わたしは何を望んでいるのか？ 私にとってものごとを変える時なのか？ この薬物テストが目覚めの知らせであるのか？」ということに取り組んでいるのですね。

<われわれはそれをこのように分けた>

発話 1：あなたがおっしゃる、それはあなたしだいだ、というのはまったく正しいです。誰もあなたに代わってその選択をしません。誰もあなたに代わってその選択をできません。たとえあなたの妻が代わりに決めたいと思っても、あるいはあなたの雇い主があなたの代わりに決めたいと思っても、あるいはわたしがあなたに代わって決めたいと思っても、誰もできないのです。それは全く完全にあなた自身の選択です。どのようにあなたの人生を生きるか、薬についてどうするか、どこへ向かうか。だからそれはあなたのものです。

発話 2：そしてあなたは「わたしは何を望んでいるのか？ 私にとってものごとを変える時なのか？ この薬物テストが目覚めの知らせであるのか？」ということに取り組んでいるのですね

行動コード

1. 情報提供

このカテゴリーはカウンセラーが情報提供、教育、フィードバックの提供、個人的情報の開示を行う時に使用するカウンセラーがアドバイスすることなく意見を言うときはこのカテゴリーが使われる。情報提供には下位コードは割り当てられない。情報提供の具体的な例は下記を含む。

1a. 評価手段に基づいてフィードバックを提供する

- あなたは評価の期間、典型的には週に約 18 標準飲酒単位 1 飲むことを示していました。このことは貴方の年齢のアメリカ人男性の 96 パーセントにあなたを位置させています (情報提供)

244 方法としての動機づけ面接

これは聞き返しではないことに注意せよ。評価手段に含まれる情報を振り返ることは典型的には聞き返しとはされない、しかしながらカウンセラーがクライアントの提供した材料を巧みに強調し、またより豊かにするならば聞き返しにコードされてよい。

1b. まだ、クライアントが聞かされていない、クライアントに関する個人的フィードバック

- あなたの医師はあなたが血糖コントロールに苦勞して取り組んでいるとわたしに言いました。
- わたしがあなたの奥さんとお話したら、彼女はあなたの飲酒について本当に心配していると言っていました。

1c. 介入に関連した考えや概念の説明

- あなたの“飲みたい”という渴望を記録するというこのホームワークは重要なのです、なぜならわれわれは渴望がしばしば再発につながることを知っていますから。渴望はあなたに違うことをせよと教える警告ベルのようなものです。

1d. 話題に関する教育

- 果物や野菜を毎日摂る人は癌のリスクが5倍減少します 大腸がんなどある種の癌ではもっとリスクが減少します。
- もしもあなたが再発したならば、わたしはそのことをあなたの保護観察官に知らせなければなりません (情報提供: 評価者は代わりに MI 不一致を考慮してもよい)

評価者は情報提供の中でのタイプは分ける必要がない。評価者はその行動がこのカテゴリーの中のいずれかであると一度決めたら、それ以上区別することなく情報提供を割り当てる。

<情報提供を MI 不一致行動と鑑別する>

情報提供はアドバイス、警告、直面化や方向づけと混同されてはならない。

- あなたは評価の期間、典型的には週に約 18 標準飲酒単位飲むことを示していました これは社会的範囲の飲酒をはるかに越えています (MI 不一致)
- この記録表を使ってあなたの酒への渴望を記録してください、そして来週わたしといっしょにレビューするためにそれを持ってきてください (方向づけ)
- えーっと、あなたは5つ食べたとおっしゃいましたが、この図によると果物を2種しか食べていませんね、自分を騙すのは簡単なことです (直面化)
- それはわたしには役立ちましたし、もしあなたが試しにやってみるならばあなたにも役立つでしょう。われわれはあなたにちょうどいい AA ミーティングを見つけてあげなければなりません。あなたはいい AA を探せなかっただけです (アドバイス)

2. 質 問

2a. 閉じられた質問

この行動コードはカウンセラーがクライアントに“はい”“いいえ”で答えられる質問をする時に使われる。

- 今週ヘロインを使いましたか？
- 今週、5種類の果物や野菜を食べましたか？
- 記憶に関してお困りでしたか？

非常に限られた範囲を特定する質問や質問票を埋めるための質問もまたこれにコードされる。

- ヘロインをどれだけ長く使ってきたのですか？
- 今週はいくつの果物や野菜を食べましたか？
- 合衆国の大統領は誰ですか？

2b. 開かれた質問

開かれた質問はカウンセラーが広範囲の答えを可能とする質問をする時にコードされる。この質問は情報を求めたりクライアントの視点を招いたり、自己探索を奨励するかもしれない。開かれた質問は質問者が驚くような答えの選択を可能とする。“もっと話してください”という陳述は、明らかに方向づけまたは直面化コードを示すトーンと文脈でなければ開かれた質問にコードされる。

- われわれが最後に会ってから、あなたのヘロインへの渴望はどんな具合でしたか？
- 今週のあなたの果物と野菜について話してください
- それについてのあなたの見解は？

一般的に（クライアントが答える前の）質問の積み重ねは、一つの質問としてコードされる。時にはカウンセラーは開かれた質問をしてクライアントが答える前に、一続きの“たとえば”というフォローアップの質問をして質問を積み重ねるかもしれない。これらは一つの開かれた質問にコードされる（この例では一つの開かれた質問と二つの閉じられた質問ではなしに）。

あなたの飲酒はどのようにあなたに問題を引き起こしていますか？ あなたの人間関係や記憶の分野に問題を起こしているか？ 法律や健康問題の問題についてはどうか？ 自分自身にがっかりしたか？ というようなことです

2c. 聞き返しをしようとする質問

全体的には聞き返しの基準に合うが、語尾の抑揚のために質問のように聞こえる陳述がある。これらの陳述は聞き返しとしてではなく質問（開かれたあるいは閉じられた）としてコードされる。

3. 聞き返し

このカテゴリーはクライアントの陳述に応じてカウンセラーが行なった聞き返しを捉えることを意図している。聞き返しは材料に新たな意味を導入するかもしれない、しかし本質的にはそれはクライアントが今言ったことについてなにかを捉えてクライアントに返す。聞き返しはさらに単純な聞き返しと複雑な聞き返しにカテゴリー化されなければならない。

3a. 単純な聞き返し

単純な聞き返しは典型的にはカウンセラー／クライアントのやりとりの理解を伝え促進する。これら聞き返しはクライアントが言ったことに意味や協調を付け加えないかほとんど付け加えない。単純な聞き返しはクライアントの重要なあるいは強烈的な感情に注意するが、クライアントのももとの意図や陳述から遠く離れてゆかない。カウンセラーによるいくつかのクライアントの陳述の要約は、カウンセラーが追加点や方向づけを加えるために使うのでなければ単純な聞き返しにコードされてよい。

3b. 複雑な聞き返し

複雑な聞き返しは典型的には実質的な意味や強調をクライアントが言ったことに加える。これらの聞き返しはクライアントが言ったことより深いまた複雑な描写を伝える目的に役立つ。時にカウンセラーは強調したり会話を違った方向づけに向けるために、クライアントが言ったことの特定の部分を強調することを選択するかもしれない。カウンセラーは微妙なまたは明白な内容をクライアントの言葉に付け加えたり、複雑な性質の要約を形作るためにクライアントの陳述を組み合わせてもよい。

<スピード違反切符>

クライアント：これで彼女のスピード違反切符は3カ月で3度目です われわれの保険は最高限度を超えるでしょう 彼女を殺してやりたいくらいです 彼女はそのお金が他のことに必要だとわからないのでしょうか

カウンセラー：あなたはそのことでひどく立腹している（聞き返し、単純）

カウンセラー：我慢の限界なのですね（聞き返し、複雑）

<血糖コントロール>

カウンセラー：あなたは血糖コントロールの方法についてどんなふうの説明されていますか（開かれた質問）

クライアント：冗談でしょ？授業を受けたしビデオを見たし、訪問看護婦も来ました わたしは血糖コントロールをどう上手くやるかについてのあらゆる種類のアドバイスを受けながら、実行しただけなのです。なぜかわかりません。おそらくわたしには死への願望か何かがあるんでしょうね？

カウンセラー：あなたはそのことで非常に落胆している（聞き返し、単純）

カウンセラー：あなたはまだやるべきことを全てやったわけではない（聞き返し、複雑）

<母の一人暮らし>

クライアント：母は私をいらつかせます 彼女は一人暮らしのままでいたいと言いながら、つまらない質問で日に 4 回電話してきます そして彼女はわたしがアドバイスすると怒るのです

カウンセラー：お母さんとの状況は非常にストレスフルです（単純な聞き返し）

カウンセラー：あなたはお母さんが本当は何を欲しているのか理解するのに苦労している（聞き返し、複雑）

カウンセラー：あなたはお母さんが本当は何を欲しているのか理解するのに苦労しているのですか（閉じられた質問）

カウンセラー：あなたはお母さんがほんとうに欲しているのは何だと思いますか（開かれた質問）

3c. 判断基準

評価者が単純な聞き返しと複雑な聞き返しを区別できない時は、単純な聞き返しとする。既定カテゴリ：単純。

3d. 連続した聞き返しと質問

時にはカウンセラーは聞き返しで始めて、聞き返しの信頼性を“チェック”するのに質問（開かれたあるいは閉じられた）を加える。両方の要素がコードされるべきである。

- ・それであなたはヘロインを二度と使おうと思わない それで合っていますか？（聞き返し、閉じられた質問）
- ・あなたの上司があなたはもう残業できないと言った それをどう思いますか（聞き返し、開かれた質問）

3e. 質問に変わった聞き返し

全体的には聞き返しの基準に合うが、語尾の抑揚のために質問のように聞こえる陳述がある。これらの陳述は聞き返しとしてではなく質問（開かれたあるいは閉じられた）としてコードされる（2c 参照）。

4. MI 一致

このカテゴリは動機づけ面接アプローチと一致する特定のカウンセラーの行動を捉えるのに使われる。評価者はたとえカウンセラーの発言が真に“適合”していなくとも、MI として良い例になっているのであれば、これらのカテゴリの 1 つにコードしたいという誘惑にかられるかもしれない。そうではなく、評価者は、MI 一致行動は決められた行動のみに付与するようにして、先のような例は総合評価の全体的な評価の中で適切とみなすべきである。MI 一致カテゴリは下記からなる。

248 方法としての動機づけ面接

4a) アドバイスや情報を与える前に許可を求める、あるいはクライアントが話題について何を既に知っているか、あるいは何を今までに聞かされてきたかをアドバイスや情報を与える前に尋ねる。クライアントから直接に情報やアドバイスを求めて来たときも、クライアントからの許可が含まれている。カウンセラーがクライアントに対してアドバイスを与えながら、それを無視しても良いと伝える場合も間接的に許可を求めていることになる。

- ・大腸がんのリスクをどう減らすかということについて、私はいくらか情報を持っています。それについてあなたと話し合ってもかまいませんか (MI 一致)
- ・妊娠中の飲酒について何かすでに聞いていますか? (MI 一致)
- ・これはあなたには当てはまらないかもしれませんが、私のクライアントの中に、昼食後2時間に血糖値をチェックするのを思い出せるように腕時計のアラームをセットし、それで上手くいった人がいました。(MI 一致)

注意：アドバイスの前に許可が求められている時には、MI 不一致コードはそれに続くアドバイスにつけられない。そのボレー全体は MI 一致とコードされる。

4b) クライアントを是認する。なにかポジティブなことや称賛を言う。是認は、目標行動に単純には関連しないような、どんな分野においてもクライアントの長所、能力や努力について意見を言う形をとってもよい。

- ・あなたは一度決心したらたいいやりとげる、そんな種類の人間です (MI 一致)
- ・あなたにとっていい親であることが重要です、あなたの両親があなたにとってそうであったように (MI 一致)

4c) クライアントのコントロール、選択の自由、自律、決定能力の強調

- ・ええ、あなたは正しいです 誰もあなたの飲酒を無理に止めさせることはできません (MI 一致)
- ・あなたはここであなた自身のことを一番知っている人間です。あなたはこの治療プランに何が盛り込まれるべきだと考えますか? (MI 一致)
- ・あなたが食べるのに選ぶ果物と野菜の数は全くあなた次第です (MI 一致)
- ・あなたの言うことは一理あります (MI 一致)

4d) クライアントをサポートする 思いやりや同情の発言で

- ・駐車場のことや雨降りのことやらで、ここまでやってくるのは大変なことだったでしょう (MI 一致)
- ・飲酒をやめるのは非常に難しいことだと知っています (MI 一致)
- ・なるほど、今のあなたにはもう抱えきれないほど、いろんなことが起こっているのですね (MI 一致)

MI 一致とみなされた行動には下位コードは割り当てられない。内容が何であれ、評

評価者はただそれらに MI 一致コードを割り当てただけである。

4e) 判断基準：MI 一致コードは発話が MI 一致カテゴリーに明らかに分類される時につける。疑わしい時には違うコード（たとえば、開かれた質問 や聞き返し）が与えられるべきである

5. MI 不一致

このカテゴリーはカウンセラーの動機づけ面接のアプローチと一致しない行動を捉えるのに使われる。不一致行動には下位コードは割り当てられない。評価者はただそれらに MI 不一致コードを割り当てただけである。

5a) 許可なしのアドバイス。最初にクライアントの許可を得ずに提案、解決法や可能な行動を提供することによる言語はいつもとは限らないが、通常このような言葉を含むべきである。なぜ～しないのですか、考慮して、やってみて、提案する、助言する、～はどうですか、あなたは～できるかも、など。もしカウンセラーがアドバイスする前に直接的にまたは間接的に、最初に許可を得ていればコードは違ってくることに注意せよ。

- ・友達に乗せてもらうよう試してはどうですか？ (MI 不一致)
- ・最初 1 日に 5 回血糖をチェックすることが一番いいです。(MI 不一致)
- ・それはあなたが思うほど悪くないかもしれない。あなたが彼ら人々に機会を与えれば彼らはたいてい丁寧ですよ (MI 不一致)

5b) クライアントに直接的にそして曖昧ではなく異議を唱え、論争し、訂正し、辱め、非難する、批判する、レッテルを貼る、教訓を与える、馬鹿にするあるいはクライアントの正直さを問うことによってクライアントに直面化する。そのような相互作用は不満や否定を伴った不公平な権力争いという性質をもつだろう。ここにはカウンセラーが質問やあるいは聞き返しを使うが、声の調子が明らかに直面化を示す例も含まれる。

すでに知られているまたはクライアントによって明かされた否定的な情報を言い換えることは直面化または 聞き返しのどちらにでもなりうる。大部分の直面化は声の調子と文脈に慎重な注意を払えば正しくカテゴリー化できる。

- ・あなたはノックビン（抗酒薬）を飲んでいたけれども結局飲酒したんですね？ (MI 不一致)
- ・あなたはそれが愛する人たちを扱う方法だと考えているのですか？ (MI 不一致)
- ・ええ、あなたはアルコール依存です。自分ではそう思わないかもしれないけれど、そうです (MI 不一致)
- ・ちょっと待って。あなたの A1C^{脚注)} は 12 だとここに出てる。申しわけないけれど、こんなに高いなら、あなたが自分でおっしゃったようにカロリー計算していたとは思えないですね。(MI 不一致)

5c) 指図する。命令や指示、励まし、報酬などによってクライアントに指図すること。

250 方法としての動機づけ面接

言葉は命令形。

- それをしてはだめ！（MI 不一致）
- この宿題を来週持ってきたさい（MI 不一致）
- あなたは 90 日間に 90 回ミーティングに行かねばなりません（MI 不一致）

繰り返しになるが、評価者は MI 不一致行動を下位分類することはしない。一度評価者がその行動を直面化または指示と決めたなら（またはこのカテゴリーの 2 つのどちらかに入ると決めたなら）、MI 不一致コードを割り当てて進む。

5d) 判断規則：MI 不一致コードは発話が明らかに MI 不一致カテゴリーに当てはまる時につける。疑わしい時は、その他のコード（たとえば情報提供）が与えられるべきである

<かんしゃく>

クライアント：うちの子のかんしゃくについてどうしたらいいと思いますか？ あ

なたは医者でしょ

カウンセラー：このことを自分で解決するのは無理だった、それでようやく他人の手助けを借りる気になったわけです（MI 不一致）[または]あなたのお子さんは正常です。それはかんしゃくではありません（MI 不一致）

E. コード化部分の長さタイプを選ぶ

MITI は治療テープの 20 分間の部分を使って発展してきた。もっと長いテープ（たとえば治療セッション全体）に MITI を使うことも可能かもしれない。ただし、コード化部分の長さを増やす試みに対しては、以下と関連したことに注意を喚起したい。①評価者の注意の持続についての問題、②増加したデータについて包括的評価をなすことの困難さ、③多忙な状況で途切れずに仕事をする時間を得ることの手段的難しさ。同様に、われわれの初期の大部分のデータはビデオテープよりもオーディオテープを使って収集された。MITI はビデオテープのコード化にも使えるが、視覚的情報を収集するために変更するべきではない。

F. MITI のサマリースコア

MI 機能の重要な指標は頻度カウントによって不完全にしか捉えられないので、われ

脚注：純粋なエタノールに換算して 14 グラムに相当する量の酒。ビールなら 350cc 弱、日本酒なら 0.5 合程度。

われは多くの治療コードの応用には個々のコード自体よりむしろコードから計算されたサマリースコアを用いた方がより役立つことを発見した。たとえば質問に対する聞き返しの比率は重要な MI プロセスの簡明な測定法を提供する。下記は MI の有能さを決定するためのアウトカム測定に役立つサマリースコアとそれらを計算する公式の部分的なリストである

- 包括的スピリット評価 = (喚起 + 協力 + 自律 / サポート) / 3
- 複雑な聞き返しのパーセンテージ (% CR) = Rc / 聞き返しの合計
- 開かれた質問のパーセンテージ (% OC) = OQ / (OQ + CQ)
- 質問に対する聞き返しの比率 (R : Q) = Total reflections / (CQ + OQ)
- MI 一致のパーセント (% MiA) = MiA / (MiA + MiNa)

G. MITI のトレーニング戦略

“いついかなる時も私に与え給え、大量の種を含んだ実り豊かな間違いを。それらと一緒に修正の雨も。” Give me a fruitful error any time, full of seeds, bursting with its own corrections. Vilfredo Pareto (1848-1923)

評価者をトレーニングし、評価者間信頼性とゴールドスタンダードとの合致率で測れる有能さに到達させるためには普通、段階的な学習プロセスを必要とする。われわれは評価者がかなり単純な課題から始めて、単純な課題における有能さが確固としたものになった時にのみ、もっと複雑な課題に進むのが最善であると発見した。われわれは評価者がレベルⅡの課題を試みる前にレベルⅠの課題を、受け入れられる信頼性の基準まで学ぶことから始めることを勧める。ⅠとⅡの課題に対する受け入れられる基準が同時になし遂げられ時のみ評価者はレベルⅢの課題を始めるべきである。MI テキストとビデオ学習教材の自己復習はいつでも使える (たぶんレベル 1 課題を始める前の導入として)。

代表的な面接場面の口述筆記を事前にコード化しておき、それを標準トランスクリプトとすることによって、評価者の能力と改善すべき点を評価できるようになる。評価者はしばしばある一つ特定の領域において問題を示すことがあり、その場合、その領域に集中した訓練が必要である。問題の分野は標準トランスクリプトを各レベルのテストとして使うことで同定することができる。しばしば各レベルに 1 回より多くのテストが必要である。われわれは、評価者が MITI 使用の評価者間信頼性に達するまで典型的には 40 時間のトレーニングを要することを見出した。加えて定期的 (おそらく毎週) グループ評価セッションが、逸脱が起らないよう保証するために必要である。われわれ

表 6

行動カウントとサマリースコアの閾値	初心者レベル	十分なレベル
全体臨床評定	平均 3.5	平均 4
質問に対する聞き返しの比率 (R : Q)	1	2
開かれた質問のパーセンテージ (% OC)	50%	70%
複雑な聞き返しのパーセンテージ (% CR)	40%	50%
MI に準拠のパーセンテージ (% MIA)	90%	100%

の研究では、臨床経験は（すなわちカウンセラーであること）は、トレーニングの容易さやトレーニングの結果としての生じる評価能力とは関係しなかった。

レベルⅠ：能力（発話を分ける、情報提供と開かれた／閉じられた質問）

レベルⅡ：能力（聞き返し、MiA と MiNa を追加）

レベルⅢ：能力（包括的評価を追加）

次頁は MITI コード化システムに基づいて推薦される、カウンセラーの熟練度と能力の閾値である。これらの閾値は専門家の意見に基づいており、現在それらをサポートする基準のあるいは他の妥当性データを欠いていることにどうぞ注意してほしい。われわれは現在、改定版 MITI のために基準のデータを収集する過程にある。そのような基準データが使えるようになるまで、これらの閾値はカウンセラーの MI 使用の有能さと熟達度の評価時に届いた他のデータと共に使用されるべきである。

MITI コードのリスト

- ・喚起（喚起の全体評価）
- ・協力（協力の全体評価）
- ・自律／サポート（自律／サポートの全体評価）
- ・方向づけ（方向づけの全体評価）
- ・共感（共感の全体評価）
- ・スピリット（MI のスピリットの全体評価：喚起、協力、自律／サポートの平均）
- ・GI（情報提供）
- ・MiA（MI 準拠）
- ・MiNa（MI 非準拠）
- ・OQ（開かれた質問）
- ・CQ（閉じられた質問）
- ・Rs（聞き返し：単純）
- ・Rc（聞き返し：複雑）

動機づけ面接治療整合性尺度 (MITI) コードシート
改訂 (2007 年 7 月)

Tape # _____ Coder : _____ Date : _____

全体評価

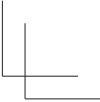
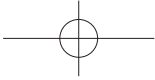
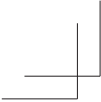
喚起		1	2	3	4	5
		低い				高い
協力		1	2	3	4	5
		低い				高い
自律/サポート		1	2	3	4	5
		低い				高い
方向づけ		1	2	3	4	5
		低い				高い
共感		1	2	3	4	5
		低い				高い

行動カウント

情報提供			
MI に準拠	許可を求める, 是認する, コントロールを強調する, サポート		
MI に非準拠	助言, 直面化, 方向づけ		
質問	閉じられた質問		
(下位分類)	開かれた質問		
聞き返し	単純		
(下位分類)	複雑		
	聞き返しの合計		

最初の文 : _____

最後の文 : _____



254 方法としての動機づけ面接

付記：“Professional Training Series” のビデオからとられた MI 面接の書き起こしをコード化したものが用意されており、それを使うことが MITI の使用の学習に役立つ。学習を容易にするために、それぞれの面接は 2 回コードされている。1 回目は全体評価，2 回目は行動カウントである。実際には両者を同時に行うことが一般的である。これらの書き起こしは MITI のマニュアル自体と同様に無料で以下からダウンロードできる (<http://casaa.unm.edu/code/miti.html>)。

